

令和7年度



1. 大麻小スタートカリキュラム全体計画

《スタートカリキュラムとは》

スタートカリキュラムとは、小学校に入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムである。

(1) ねらい

《子ども》

- (1) 安心して学校生活を過ごすことができるようにすること (生活する力)
- (2) 意欲的に学習に取り組むことができるようにすること (学ぶ力)
- (3) 進んで他者と関わることができるようにすること (関わる力)

《教職員》

- (1) すべての教職員が子どもたちと関わりもち、学校全体として取り組むこと (学校全体で子どもを見守る力)
- (2) 9年間を見通した義務教育全体の改善へとつなげること (小中一貫教育)

《保護者》

- (1) 学校教育への理解と信頼が深め、安心して登校させられるようにすること。(信頼・安心感)
- (2) 子どもの成長や意欲的な姿を通して保護者の意識が高まること。(学校教育への理解・協力)

(2) 育てたい子どもの姿

- (1) 自分らしさを出し、元気にのびのびと過ごす子ども
- (2) 進んで、楽しく学習できる子ども
- (3) 友達の気持ちを考え、みんなと楽しく過ごすことができる子ども

(3) カリキュラム編成の基本方針



(1) 一人一人の子どもの姿を大切にする (幼保小の連携)

幼稚園・保育園との情報交換を行い、幼児期の学びと育ちの様子、指導の在り方などを生かして、一人一人の子どもの姿を大切にして進めていく。



(2) 子どもの発達の特性を基に、時間割や学習内容を工夫する (学校生活へのゆるやかな適応)

入学期の学びの特徴を踏まえ、20分や15分程度の内容で時間割を構成したり、活動性のある学習活動を行ったりするように工夫する。



(3) 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を目指す (学習への導入)

自分との関わりを通して総合的に学ぶ子どもの発達の特性を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を図る。



(4) 安心して進んで学びを広げる環境を整える (学習環境・規律)

子どもが安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるように学習環境を整える。

※ 学校のきまりや施設の使い方など学校生活の基本となる事柄や教育課程に入る前の教科の基本となる学習など、1年生入学当初のカリキュラムを「生活科」を中心に「余時数」の時間を活用しながら弾力的、横断的に編成する。

※ 運用においては、入学した児童の実態に合わせて適宜、変更を加えながら進める。

2. スタートカリキュラムによって目指す姿

《スタートカリキュラム3つのキーワード》

安心

幼児期に親しんだ活動を取り入れたり、分かりやすく学びやすい環境をつくったりすることで、安心して小学校のスタートを切れるようにしていきます。

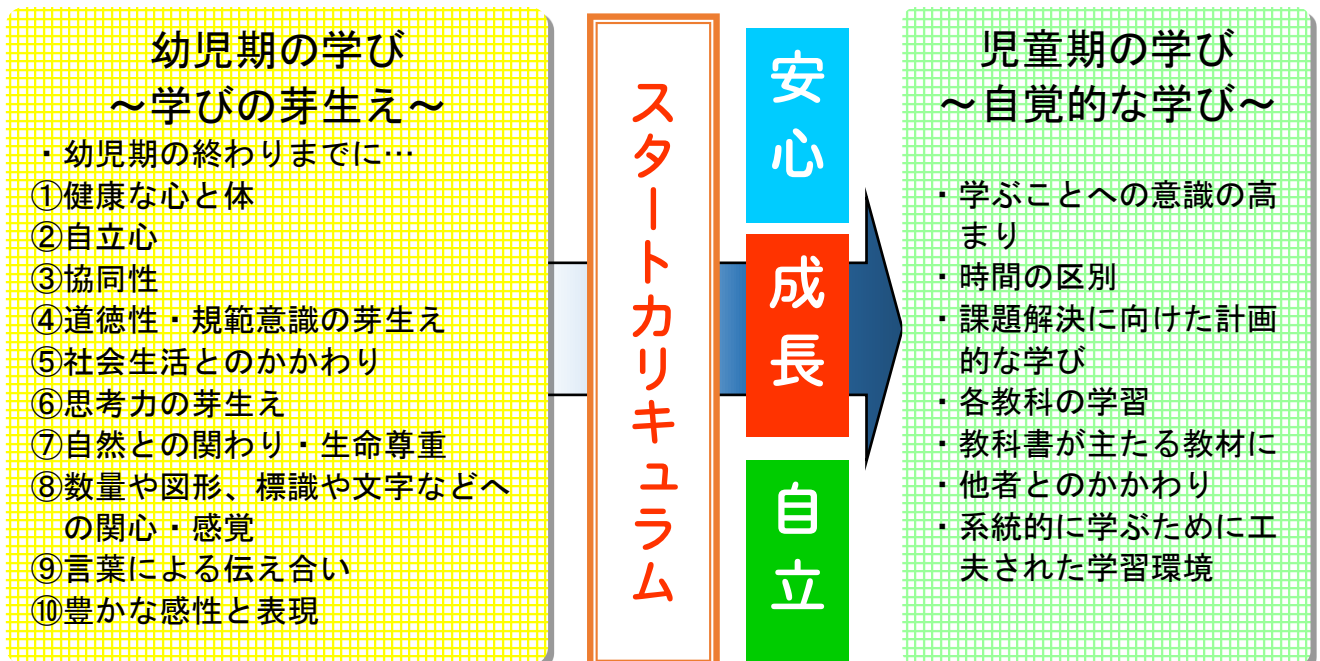
成長

幼児期からの学びと育ちを生かす活動や環境を意図的に設定することで、自信や意欲をもって活動して自己を発揮し、自己肯定感を育みます。

自立

幼児期に経験した「学びの自立」「生活上の自立」「精神的な自立」につながる学びを基盤とした学習を構成することで、子供の主体性を育てます。

《スタートカリキュラムのイメージ》



なぜスタートカリキュラム？

《1年生にとって…》

- 安心や楽しさが生まれ、小1プロブレムの予防や解決につながる！
- 自分のもっている力を発揮でき、学びに向かう力が育つ！
- 先生や友達に認められることで、自信や意欲が育つ！
- 子どもの自立と9年間の学びの基礎を育つ！
- 夢や希望をもち、前向きに成長できる！

《2年生にとって…》

- 1年生のよさが分かり一人一人を大切に思う心が育つ。
- 上級生としての自覚と責任が生まれる。

《担任にとって…》

- 一人一人の見方や指導観が変わる。
- 特別な教育的支援が必要な子どもにとっても効果的な活動となる。

《学校にとって…》

- スムーズに適応し、意欲にあふれる1年生の姿が見られる。
- 9年間を見通した義務教育全体の改善へとつながる。

《保護者にとって…》

- 学校教育への理解と信頼が深まり安心して登校させられる。
- 子どもの成長や意欲的な姿を通して保護者の意識も高まる。

3. スタートカリキュラム期における日課と学習内容の基本例

期	時期	日課	主な学習内容（赤文字は時数）
入学期	入学後 1 週目 4 月 8 日～ 4 月 12 日	3 時間授業	国)「はるがきた」 2 「おはなしききたいな」 2 「なんていおうかな」 2 「かくことたのしいな」 1 「どうぞよろしく」 3 書)「じをかくしせい」 1 「えんぴつのもちかた」 1 「いろいろなせんをかこう」 1 算)「くらべたことがあるかな」 1 「なかまづくりとかず」 1/15 生)「わくわくドキドキはじめのいっぽ」 1 「きょうから 1 ねんせい」 1 「がくしゅうのはじまり」 1 「がっこうのせいかつ」 1 音)「うたってうごいてみんなでおんがく」 2 図)「オリエンテーション」 1 体)「からだほぐしのうんどうあそび」 1 「体のバランスをとる運動遊び」 2 「かけっこ」 1 道)「がっこうだいすき」 1 学)「登下校のマナーと安全」 1 「給食のきまり」 1 「交通安全教室」 1 行 身体測定 0.5 ・視力検査 0.5 ・聴力検査 0.5
始動期	入学後 2 週目 4 月 15 日～ 4 月 18 日	4 時間授業 ・給食開始	
準備期	入学後 3 週目 ・連休明けまで 4 月 21 日～ 5 月 2 日	4 時間授業 ・給食あり	*次の学習を中心に… 国)「こんなものみつけたよ」 2 「うたにあわせてあいいうえお」 2 「こえにだしてよもう」 1 「よくきいてはなそう」 2 「ことばをさがそう」 2 「はなのみち」 2/7まで 書)「とめとはらい」 1/2 算)「なかまづくりとかず」 8/15まで 生)「わくわくドキドキしょうがっこう」 1 「がっこうをたんけんしよう」 2 「なにをかんじたかな」 1 音)「1 年生を迎える会に向けて」 1 図)「どんどんかくのはたのしいな」 2 体)「かけっこ」 2 「道具を操作する運動・あそび」 2/3まで 道)「きもちよいせいかつ」 1 学)「1 年生を迎える会に参加しよう」 1 行 歯科検診 0.5
通常	5 月 2 週目		年間指導計画に基づいた指導

安心感・新しい人間関係を築くことをねらいとした学習

合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習

教科等を中心とした学習

★給食事前指導は、栄養教諭による授業を行う。

4. 教科や生活の仕方と関連付けて、適宜指導する事項

次の内容を指導する。指導に当たっては「やってみせて、やらせて、ほめて、繰り返す」ことを基本とする。放課後に支援員との打ち合わせの時間を設け、児童の見取りや翌日の重点について確認しながら進める。

入学期 (最初の 一週間) の指導 事項	(1) あいさつ・健康についての指導 ・朝のあいさつ、帰りのあいさつ、授業の開始と終わりのあいさつ、元気な返事 ・健康観察シートの提出 (他の提出物と合わせて指導)・手洗いの徹底 (2) 登校・下校指導 ・コース、通学路、歩き方の確認 ・危険な箇所 ・玄関での作法、靴の入れ方 (左右、かかとを手前にそろえる) (3) 整理整頓にかんする指導 ・棚の使い方、学習用具の使い方・しまい方、お便りのしまい方 (4) トイレ、水飲み場指導 (5) チャイムを守る (6) 礼儀についての指導① ・出会った人にあいさつ →身体測定や視力・聴力検査は指導の機会
始動期 ～ 準備期 の指導 事項	(7) 給食指導 ・準備や後片付け、食べ方の指導 ・給食当番 (8) 礼儀についての指導② ・出会った人にあいさつ →2年生による学校案内と関連付けて指導する。 (9) 立腰指導 (合言葉「足ペッタン、背中はピン、おなかと背中にグー一個」) (10) 廊下歩行、教室移動 →移動教室の際に、しっかり並んで移動することを重点に (11) 休み時間の過ごし方 →中休みの過ごし方 (休み時間は担任・支援員と一緒に遊び、遊びの中で行動観察やルールを伝える) (12) 図書館の使い方 →国語や学活と関連付けて (13) 集団での行動 →1年生を迎える会や体育の学習での指導

5 異学年との関りについて

(1) 6年生によるお手伝い活動

① 4月9日 (火)～4月10日 (金) 7:50～8:15

- ・教室関係・・・手を洗う、学習用具をしまう、コートをかける、連絡帳を出す、学習用具をしまう、トイレのサポートなどを行う。
- ・玄関関係・・・靴箱の使い方、教室までの歩き方、ジャンパーかけなどの指導をする。

② 4月9日 (火)～5月2日 (木) 8:10～8:25

- ・6年生が中心となって企画する。読み聞かせ、ゲーム、簡単な作業 (折り紙・塗り絵) などの活動を行う。

(2) 2年生と共に行う活動

①生活科の学校探検 (時期は担任団で協議)

- 2年生が1年生を連れて、校内を案内する。
- 特別教室・職員室の入り方や約束事なども教えるようにする。

②運動会にかかわること

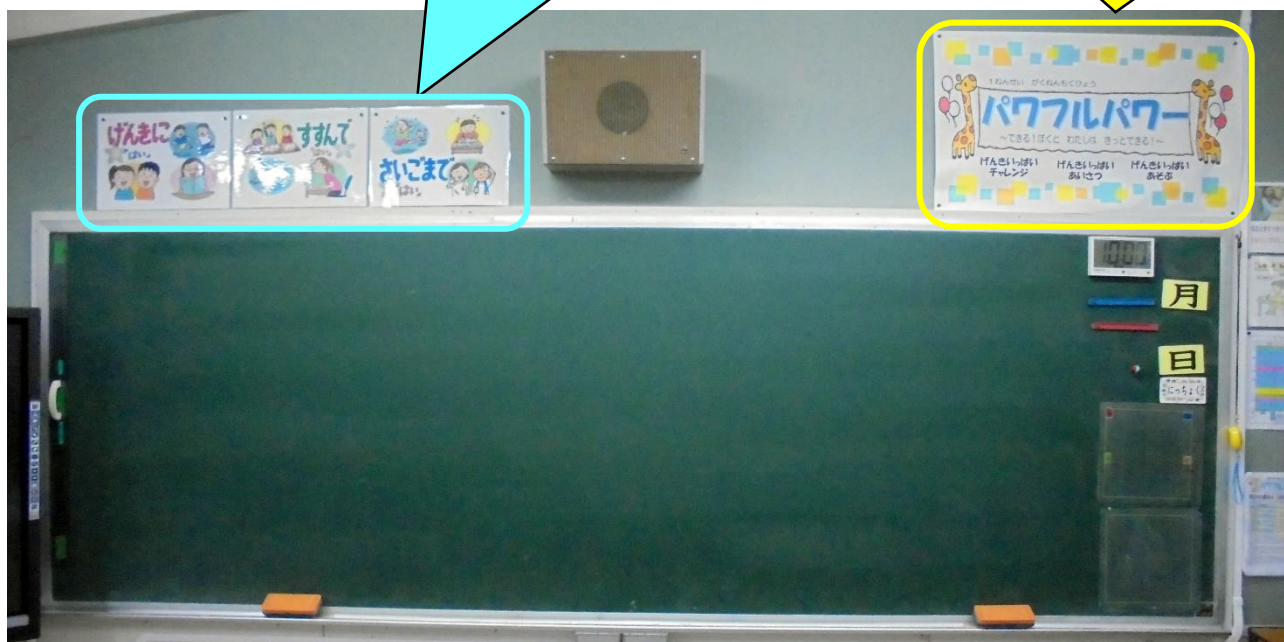
- ・麻小ソーランを教える活動を行う。(5月の連休後)
- ・団体競技を共に行う。

6. 落ち着いて学ぶ環境づくり

(1) シンプルな教室前面

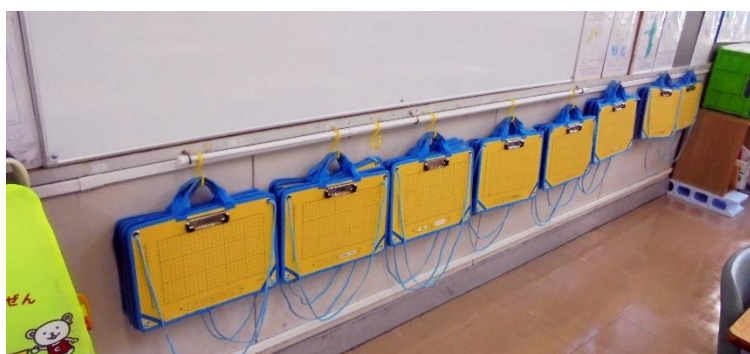
基本的生活習慣スローガンの掲示

学年目標の掲示



(2) 整理整頓された環境 ～そろえてしっかり～を指導

- ・学習道具などの整理の仕方については、「やってみせて」「やらせて」「ほめる」ことを繰り返します。
- ・スタートカリキュラム期間での定着を目標にします。1か月後、3か月後には約束の確認場面を設け、意識が持続するようにしましょう。



7. 持ち物指導

(1) 筆入れの中

- ・鉛筆 B から 2B 5 本程度 毎日けずる
 - ・消しゴム 1 個
 - ・透明な直定規 15 cm くらい イラストなし
折りたたみ不可
 - ・赤鉛筆、青鉛筆 (赤ペン・青ペン可)
- ※集中の妨げになるので、おもちゃや飾り付きの
文房具は不可



(2) 毎日もたせてもらうもの

- ・れんらくファイル (A4 のプリントが多いです。記名を忘れずに！)
→学校のお便りを入れる。家庭からの提出物を入れて持たせることにも使用。
入学式に配られた COOP でも可。
- ・連絡ノート
→質問や連絡がある場合は、付箋 (ふせん) 等を貼って、書いてあるページがわかりやすいようにしてもらう。
- ・ハンカチ、ティッシュ
- ・予備を入れた袋 (マスク、ハンカチ、ティッシュ)
- ・健康観察シート→おうちの方が記入。
- ・水筒→水分補給やうがいに使う。 **中身は水。**

(3) 学校で保管するもの

- ・体育帽子 (紅白)
- ・とびなわ (フィットネスロープ)
- ・お道具袋 [中身]・算数ブロック ・とけい ・けいさんカード
・クレヨン ・はさみ ・スティックのり ・クーピー

※かけるフックから床までが約 40 cm で、床につかないよう調節してもらう。

- ・たんけんバッグ
- ・粘土、せいさくマット
- ・ぞうきん 2 枚→ゆか用・つくえ用の表記と名前の記入。
- ・ぞうきんを止めるせんたくばさみ 2 個
- ・給食袋 (エプロンかスモック, 三角巾か帽子, ナプキン)
*毎週末に持ち帰り、洗濯することを呼びかける。



(4) その他

- ・確実な記名を呼びかける。
- ・鍵盤ハーモニカ、練習ワークの斡旋→年度当初の学習参観日にて 教材会社と連絡をとる
- ・絵の具セットの斡旋→5 月に教材会社と連絡をとる
- ・宿題はプリント 1 枚程度 「親子学習」として、保護者に○付けを依頼する。
- ・道具の持ち帰りは計画的に！金曜日はエプロン持ち帰りなので、大きなものの返却は避けるように！



8. 安全指導

(1) 登校指導

- ・始動期の2日目・3日目に、教職員による街頭指導を行う。
- ・場所と担当者は児童生活部の提案による。



(2) 下校指導

- ・入学後、4日間は3時間目の授業の終了後、方面別に分かれて教師が引率して下校する。11時30分頃出発し、在宅の保護者の方に、下校ルート of 近くまで迎えに来てもらう。

(3) 交通安全指導員との連携

- ・登下校の様子について情報交換を行い、指導に役立てる。生活部とも連携する。

9. 指導体制

- ・支援員を優先的に配置する。必要に応じて担外が支援する。特に、スクールカリキュラム実施時期は、児童の様子や翌日の予定などの打ち合わせの時間をもつ。

10. 保護者対応の基本

(1) 「やってあげる」ではなく…

- ・何でもやってあげるのではなく、「一緒にやる」
- ・持ち物の準備や宿題、家庭学習などは、一緒に行うことが基本です。特に、プリントの確認などは、毎日、子どもから受け取るようにする。



(2) 「失敗を通して学ぶ」を大切に…

- ・失敗することは「かわいそう」ではなく、成長する大きなチャンス！

(3) 「気になることには寄り添います！」

- ・小さなことでも気になったり、わからなかったりすることは連絡してもらえようにする。(保護者の不安に寄り添った行動が信頼UPに！)

(4) 家庭にはこまめに連絡を！

- ・小さなことも「このぐらいいいや」と思わず、丁寧に対応することが大事。
- ・用件だけを伝えるのではなく、子どものよさやがんばり、保護者の協力に感謝するなど、プラスの側面をしっかりと伝えていく。



1 1. スタートカリキュラム期

入学後第 1 週〔入学期〕 4月9日～4月12日

テーマ

小学校って、どんなところかな？

授業に向かう意識や態度を身につけ楽しく学習する。また、幼稚園や保育所との違いに気づき、小学校での学習に対する好奇心を高める。

ねらい

- 小学校の生活環境になじみ、安心して楽しく生活する。
- 朝の準備の仕方を知り、自分で取り組もうとする。
- 交通のルールを守り、安全に登下校する。
- 教師や友だちの名前を知り、あいさつをしたり、言葉をかわしたりする。
- 学校での生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。

生活（基本的な生活習慣を身に付けるために）

- ・ 気持ちのよい挨拶や返事の仕方
- ・ トイレの使い方
- ・ 朝の準備（上着を掛ける・学習用具を机にしまう・ランドセルを所定の場所へ入れる）
- ・ 休み時間の過ごし方（トイレ水飲み・コモンスペースでの過ごし方）
- ・ 校内の約束（チャイムの合図・廊下や階段の歩き方・手洗いの後、手を拭く）

学習（学習時の約束を確実に）

- ・ 教科書とノートの違い・置き場所・使い方
- ・ 教科書の開き方、机の上の学習用具の配置
- ・ 座り方（話を聞く時の姿勢や姿勢の保ち方）

その他

- ・ 学年通信や学級通信を通して、学校生活の様子や必要な持ち物等を知らせ、新 1 年生がスムーズに学校生活を送ることができるようにする。
- ・ 保護者や地域ボランティアとの連携をはかり、登下校時の子どもの安全を確保する
- ・ 教師間で子どもの様子に対する情報交換を行い、子どもが学校生活に慣れるように指導内容の改善工夫を行う。

入学後第1週〔入学期〕「学校生活を知ろう!」 ※時間割例

	入 学 期					
	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日
	月	火	水	木	金	土
朝	入学式	スタートカリキュラム 開始 登校指導①	身体測定 視力検査 登校指導②			
	◇6年生と支援員に手伝いを依頼。 ◇道具の置き場所を事前に確認しておく。 ◇1年生の世話をしてもらっている間に連絡帳に目を通すことができる。					
		6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い
1		国語	行事	国語	体育	国語
		はるがきた (1/2)	身体測定 書写 じをかくしせい	おはなし ききたいな (1/2)	からだ ほぐし うんどう	なんて いおうかな (1/2)
2	受付→教室	生活	国語	音楽	図工	生活
	返事 歌練習 整列	わくわく どきどき はじめの いっぽ	はるがきた (2/2)	うたってうごいて みんなでおんが く (1/8)	オリエンテーシ ョン (1/2)	きょうから 1ねんせい
3	(行事) 入学式 10:00- 写真撮影	学活	行事	算数	国語	体育
		登下校のマ ナーと安全 * 下校指導	視力検査 書写 じをかくしせい	くらべたことが あるかな	おはなし ききたいな (2/2)	体のバランス をとる運動あ そび (1/2)
4	(学活) 教師の名前 を知る 席を 覚える	◇カバンに物をしまう。机の中空っぽ作戦。 ◇トイレに行って、上着を身につけさせる。 ※雨天時の身支度には余裕を持って。				
	帰りの支度 ランドセルに しまう					
備考		◇コース別名簿の準備。 ◇各コース担当者との事前打ち合わせ。 ◇不都合があったときには、適時対応。				

入学後第2週〔始動期〕 4月14日～4月18日

テーマ 勉強楽しいな！給食も始まるよ！

給食や朝の会などの際に、当番としての役割を理解し、自分から行動する。また、基本的な学習規律を身につける。

ねらい

- 一人一人が自分の役割を理解し、責任をもって自ら行動する。
- 授業中は、自分の席に座り、教師や友だちの話をしっかりと聞く。
- 学習の流れを知り、学習への意欲をもつ。
- みんなで楽しく給食を食べることができる。
- 当番（日直、給食）の仕方を知り、仕事をやりきる心地良さを感じる。

生活（仲間と一緒に楽しく過ごすために）

- ・ 自己紹介（自分のことを言葉で伝えることと、お友達の話をしっかり聞く）
- ・ 集団遊び（クラスの友達と楽しく過ごすための約束の確認）
- ・ 当番活動（給食や当番などで友達と協力しながらスムーズにできるように）

学習（前向きに学習に取り組むために）

- ・ 授業準備（教科書・ノート・筆記用具の準備の仕方）
- ・ 正しい鉛筆の持ち方
- ・ 正しい姿勢（学習する姿勢を身に付け正しい姿勢で授業を受ける）

その他

- ・ 授業参観や学級懇談会を通して、保護者と授業内容を共有するとともに、それぞれの子供の姿を知ってもらい、家庭と連携した教育につなげる。
- ・ 学年部会などで生活上の約束やルール（給食・掃除・係活動など）を統一する。
- ・ 長休みには、担任は子供と一緒に運動場に出たり、教師間連携を密にし、教室以外で過ごす子供の安全を確保する。

指導のポイント

学校生活の仕方を教える

- 保健室・職員室・体育館・図書室など生活に必要な場所を教える。
- さまざまな場所の使い方やそこでのルールを伝える。
- チャイムを合図とした時間の区切りを知らせ、休み時間は元気に体を動かして過ごせるようにする。

学習規律を教える

- イスの座り方やえんぴつのもち方などを繰り返し丁寧に指導する。
- 「～です」「～ます」を使った発表の仕方を教える。
- 運筆や音読などの学習を行い、学ぶ意識を高める。

給食指導を通して

給食に興味をもたせる

- 安心して給食を食べられるように個々に配慮する。
- 箸、食器の正しい使い方を知らせる。
- きめられた時間内に食べられるよう見通しをもたせる。

新しい友だちを

つくれるようにする

- クラスで自己紹介をし、友だちを知るきっかけをつくる。
- 体育や生活の時間に、集団遊びを取り入れ、クラスの友だちとのつながりをつくる。
- 下校時に同じ地区の友だちの顔や名前を覚えるように声をかける。

入学後第2週〔始動期〕「学校生活に慣れよう！」 ※時間割例

	始 動 期				
	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日
	月	火	水	木	金
朝	振替休業日		交通安全教室		聴力検査
		給食スタート			
		6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い
1		国語	体育	国語	行事
		なんて いおうかな (2/2)	体のバランスをと る運動あそび (2/2)	どうぞ よろしく (1/3)	聴力検査
					書写 いろいろな せんをかこう
2		生活	学活	国語	国語
		がくしゅうの はじまり	交通安全教室	どうぞ よろしく (2/3)	どうぞ よろしく (3/3)
3		国語	算数	生活	体育
		かくこと たのしいな	なかまづくりと かず (1/15)	がっこうの せいかつ	かけっこ (1/3)
4		学活	書写	道徳	音楽
		きゅうしょくの きまり	えんぴつの もちかた	がっこう だいすき	うたってうごいて みんなでおんがく (2/8)
備考					

◇担外に応援を頼み、初日の配膳は教師で行う。
◇受け取る側のルールを決め、ゆっくりやってみる。

《給食開始に向けて留意事項》

- ◇配膳のシステムについて、担任・支援員間で共通理解と役割分担。
- ◇給食準備の流れ確認：机上の準備→手洗い→（エプロン・三角巾）→着席
- ◇事前にアレルギーの確認と本人への声かけ「〇〇を食べられないから我慢してね。」
- ◇こぼしてしまったときの対応。「熱くなかった？」「一緒に片付けようね。」
- ◇好き嫌いチェック。遅い子のチェック。
- ◇担外に応援を頼み、初日の配膳は教師で行う。
- ◇受け取る側のルールを決め、ゆっくりやってみる

テーマ 学校のリズムを身に付けて！

時間割に基づく学習活動を理解し、さまざまな学びに対する好奇心や意欲をもって、友だちと一緒に楽しみながら取り組む。学校生活のルールを知り、身につける。

ねらい

- 時間割をもとに学習活動の流れをイメージし、時間を意識しながら行動する。
- 友だちと協力してさまざまな活動に取り組む。
- 一人一人が自分の役割を理解し、責任をもって自ら行動する。
- 学習環境を整えて、スムーズに勉強できるようにする。

生活（学習時間と休み時間を区別して）

- ・チャイムや時計を意識し、一日の見通しを立てて行動する。
- ・次の学習の準備や見通しをもって休み時間に入る。
- ・授業時間と休み時間のけじめをつけ、休み時間は友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。
- ・図書の借り方や図書室での過ごし方など、ルールを覚える。

学習（学習時の約束を確実に）

- ・授業のルール(手をあげて発表する、「ハイ」と返事をする、イスに正しく座るなど)を身につける。
- ・周りの状況に応じて、相手に伝わるように声の大きさを調整する。
- ・取り組むことが決まっている時間内は、そのことに集中して取り組む。

その他

- ・個人懇談を通して、家庭での生活態度や配慮が必要なことなどについて把握する。
- ・学校で教えていること（鉛筆の持ち方など）を保護者にも伝え、連携して指導にあたる。

指導のポイント

学習規律を身につけさせる

- 授業を受ける際に、正しい姿勢や受け答えの仕方を身につけさせる。
- ノートや筆箱などの教材の置き方・使い方を知らせる。
- チャイムを意識して行動できるように指導する。

自分の役割を意識させ 協力関係をつくらせる

- 当番活動や班活動においては互いに協力しながら取り組むように声かけをする。
- 食べられる量を配膳して、残さず食べられるように指導する。
- 給食当番の仕事を責任をもって取り組むように指導する。

入学後第3週〔準備期①〕「学校生活を楽しもう！」 ※時間割例

	準備期(第3週)				
	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日
	月	火	水	木	金
朝		歯科検診			
	6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い
1	国語	行事	算数	国語	国語
	こんなもの みつけたよ (1/2)	歯科検診 書写 いろいろなせんを かこう	なかまづくりと かず (3/15)	うたに あわせて あいうえお (2/2)	こえに だして よもう
2	書写	算数	図工	算数	算数
	いろいろなせん をかこう	なかまづくりと かず (2/15)	どんどんかくの はたのしいな (1/2)	なかまづくりと かず (4/15)	なかまづくりと かず (5/15)
3	体育	国語	図工	体育	生活
	かけっこ (2/3)	こんなものみつ けたよ (2/2)	どんどんかくの はたのしいな (2/2)	かけっこ (3/3)	がっこうを たんけんしよう (2/2)
4	音楽	生活	国語	生活	道徳
	1年生を迎える 会に 向けて	わくわく どきどき しょうがっこう	うたに あわせて あいうえお (1/2)	がっこうを たんけんしよう (1/2)	きもち よい せいかつ
備考					
	◇正しく鉛筆を持ち、簡単な迷路などに楽しく挑戦。 「正しい持ち方『天使の輪』」 ※左利きのチェック。				
	◇自分たちだけの下校に慣れてきた頃なので、登下校の様子をチェック。 ◇よその庭を通っていないか、信号を守っているか、信号無し道路はどうか、通学路を守っているか、遊びながら帰っていないかなど。				

入学後第4週〔準備期②〕「学校生活を楽しもう！」 ※時間割例

	準 備 期(第4週)				
	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日
	月	火	水	木	金
朝					1年生を迎える会
	6年生お手伝い		6年生お手伝い	6年生お手伝い	6年生お手伝い
1	音楽		国語	国語	国語
	1年生を迎える会に向けて		ことばをさがそう(1／2)	はなのみち(1／7)	はなのみち(2／7)
2	国語		国語	書写	学活
	よくきいてはなそう(1／2)		ことばをさがそう(2／2)	「とめ」と「はらい」(1／2)	1年生を迎える会に参加しよう
3	国語		体育	算数	算数
	よくきいてはなそう(2／2)		用具を操作する運動あそび(1／3)	なかまづくりとかず(7／15)	なかまづくりとかず(8／15)
4	算数		算数	体育	生活
	なかまづくりとかず(6／15)		なかまづくりとかず(7／15)	用具を操作する運動あそび(2／3)	なにをかんじたかな
備考					
	◇座り方、話の聞き方、鉛筆の持ち方を繰り返して指導。 ◇合い言葉「足ピッタン、背中はピン、おなかと背中にグー1個。鉛筆持つ手は天使の輪。」				

テーマ

学校は楽しい! 友だちの輪を広げよう

学習や休み時間での遊びなどを通して、教師やともだちとの関係を深める。教科学習の基本的な学習の仕方を身につけ、話す・聞く・書くといった学びを友だちと楽しみながら取り組む。学校生活のルールを知り、身につける。

ねらい

- 学校生活や授業の流れを理解し、自分で行動できるようになる。
- 教科書の音読やノートを取り方など、教科学習の取り組み方がわかる。
- 担任とのかかわりを深め、周りの教師を知る。
- クラスの子どもたちを認識し、友だちとしてのかかわりを広げる。

生活

- ・ 授業時間と休み時間のけじめをつけ、休み時間は友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。
- ・ 全校集会などで、立ったまま話をきく姿勢を身につけ、並び順を理解する。

学習

- ・ ノートを活用して、文字や言葉を正しくかき写すことを身につける。
- ・ 教科書を使って、教科学習に取り組む。黒板の字をノートにかき、文字・数字をかく楽しさを感じる。
- ・ 朝読書や読み聞かせの時間にさまざまな本にふれ、読書の楽しさを感じる。

指導のポイント

- さまざまな学習活動を友だちと一緒に頑張れるように、グループ学習や協同して学ぶ場を設定する。
- 学習の中での発見や課題を解決した喜びを友だちと共有できるようにする。
- 時間割にそって、自ら進んで授業準備ができるようにする。
- 授業と休み時間の区切りを定着させ、チャイムを意識した行動ができるようにする。
- 視覚教材を用いて、流れを提示することで、スムーズに行動できるようにする。
- 音読やノートを取り方を、繰り返し指導する。
- 子ども同士の間関係が広がるよう促す。
- 給食の準備や後片付け、掃除の仕方に慣れる。

環境づくり

- デジタル黒板など視覚的にわかりやすい掲示物を多用する。
- 授業時間だけでなく、休み時間も人間関係が広がるよう、みんなで遊びを取り入れる。

テーマ **学びを深めよう！ 運動会もあるよ**

ねらい

- 言葉や文字、数字をかくことに対する興味・意欲を高める。
- 集団行動のルールや態度を身につける。

生活の視点

なかま

- 教師の話や指示をしっかりと聞き、遊びを通して友達との関係を深める。

げんき

- 全体で指示を聞き、自分で行動できる。
- 集団行動(ルール・準備物)の仕方を学ぶ。

じぶん

- 自分の考えや思いをみんなの前に出て伝えようとする。

まなび

- 言葉集めを通して、多くの語句にふれたり、短い文をつくったりできる。
- たし算・ひき算を学習し、計算への興味・関心をもつ。

指導のポイント

- 子供の興味・関心が高まるように、教材を工夫する。
- 生活や学習の流れの見通しを感じて、行動できるように指導する。
- 宿題や提出物、学習用具などの忘れ物が多い子供の保護者と連絡をとり、安心して生活するために忘れ物をしないよう協力を依頼する。

環境づくり

- 間違いやつまずきを活かす指導を心がけ、子どものに寄り添いながら学習を展開する。



テーマ

学びを振り返ろう！ 楽しい夏休みまでもう少し

ねらい

- 前期前半の学習をまとめて振り返る。
- 自ら健康や安全に気をつけて生活することを意識する。(水泳学習のルールを理解する。)

生活の視点

なかま

- 友だちと約束し、学校外でも友だち達との関係を広げる。

げんき

- 夏休みの過ごし方を理解し、楽しく安全に過ごすようにする。

じぶん

- 前期前半の生活を振り返り、自身の努力や成長を実感する。

まなび

- 前期前半の学習が定着する。絵日記のかき方を学び、自分の思いを文章にする。

指導のポイント

- これまでの学習内容のまとめを通して、学習の定着を促す。
- 習ったひらがなを使って、自分の思いを表現する楽しさを感じさせる。

環境づくり

- 前期前半の学習を振り返るシートを活用して、子供自身が成長を実感できる機会をもつ。
- 人間関係の広がりやさまざまな行事を通して学んだことなどを、互いにわかちあえる場を設ける。

